

第1回 天神川氾濫災害調査委員会 議事概要

1 日時 令和5年6月8日(木) 14:00~15:50

2 場所 兵庫県民会館7F 鶴

3 出席 大石委員長、神田委員、角松委員

4 委員からの意見等

(1) 委員会設置要綱

- ・事務局が設置要綱の説明を行った。
- ・神田委員が委員長代理に指名された。

(2) 氾濫に係る事実確認

- ・事務局から、資料2「1. 天神川氾濫災害の状況」、「2. 天神川の特性」、「3. 工事概要」を説明した。
- ・委員からは以下の意見があった。
 - ① 洪水到達時間が1時間未満なので、降雨データは10分間隔で整理をした方がよい。
 - ② 床上・床下浸水被害家屋の具体的な箇所を提示してほしい。

(3) 氾濫事象の再現方法について

- ・事務局から、資料2「4. 氾濫事象の再現方法について」を説明した。
- ・委員からは以下の意見があった。
 - ① ビデオ映像、水位データ、洪水痕跡、目撃証言など、更なるデータ収集をお願いします。
 - ② 特に、水位を正確に把握することが重要と考えられ、2次元計算や模型実験など、丁寧に検討する必要がある。詳細については委員会としてアドバイスする。
 - ③ 破堤状況を推定するための情報として、土砂に埋没した車への土砂流入や窓ガラスの破損状況等を調べた方がよい。
 - ④ 大型土のうの重量について、使用した土の単位体積重量を確認して再現した方がよい。

(4) 今後のスケジュール

- ・事務局から、資料2「今後のスケジュール」を説明した。